

第47回夏季大学「台風学の最前線」開講のお知らせ

教育と普及委員会

主催：(公社)日本気象学会

後援 (予定)：横浜国立大学，気象庁，日本地学教育学会，(財)気象業務支援センター，(一社)日本気象予報士会

日本気象学会は，最新の気象学の普及を目指して，小・中・高等学校の先生や，気象を学ばれている学生・一般の方を対象に毎年夏季大学を開催しています。

今年のテーマは「台風」です。台風は発生海域の近隣諸国に甚大な被害を及ぼしています。我が国では伊勢湾台風（1959年）以降，台風の学術的研究だけでなく，気象観測網や防災対応，そして台風予報技術の開発を推し進めてきました。その結果，台風による被害は大幅に減少しています。しかし，平成23年台風12号により90人以上の死者・行方不明者と多くの被災者が

出ってしまったように，台風が脅威をもたらす自然現象であることは今も変わりありません。防災上からも，教育上からも，台風は国民の全てが理解すべき自然現象といえます。このような背景から，夏季大学では，台風の基礎から最新の台風研究や予報技術，台風災害への取り組みといった，台風に関すること全てを網羅した「台風学」を学びます。

○日程，講義題目，講師

2013年7月27日（土）

09:30 夏季大学入学式

09:40～09:55

「講師紹介と夏季大学のみどころ」

筆保弘徳（横浜国立大学）

午前：第1セッション「台風概要」

10:00～10:50

「台風と人 ～台風と上手に付き合おう！～」
大西晴夫（気象庁OB）

11:05～11:55

「台風の正体 ～地球上最強で長寿の渦まき～」
筆保弘徳（横浜国立大学）

午後：第2セッション「台風研究の最前線」

13:00～13:50

「気象研究所における台風研究」
和田章義（気象研究所）

14:05～14:55

「JAMSTECにおける台風研究」
久保田尚之（海洋研究開発機構）

15:10～16:00

「温暖化と台風変化 ～予測研究の一断面～」
大内和良（海洋研究開発機構）

2013年7月28日（日）

09:30～09:40 オープニング

午前：第3セッション「気象庁の取り組み」

09:40～10:30

「気象庁予報現業における台風の解析・予報作業」
黒良龍太（気象庁）

10:45～11:35

「台風予報改善の取り組みと国際協力の現状」
藤田 司（気象庁）

11:35～12:00

「第1回台風共通一次試験」
伊藤耕介（海洋研究開発機構）

午後：第4セッション「台風災害を防ぐ」

13:00～13:50

「報道現場から」
森田正光（ウェザーマップ）

14:05～14:55

「過去の台風災害を科学的な視点で現在に活かす」
饒村 曜（気象庁OB）

第5セッション「台風共通一次試験」

15:10～16:00

「台風共通一次試験結果発表」
伊藤耕介（海洋研究開発機構）

16:00～16:15 夏季大学卒業式

○講義会場

横浜国立大学教育人間科学部講義棟6号館101
（神奈川県横浜市）

会場の地図は、横浜国立大学ウェブサイト
（http://www.ynu.ac.jp/access/map_campus.html）をご覧ください。

○募集対象人数

定員100名程度

○受講料（消費税含む）

5,000円（学生 3,000円）

お弁当を注文される場合は、+1000円（2日間分）
となります。1日のみの場合も返金はいたしません。

参加申込受付後、郵便口座をお知らせしますので、そちらに受講料の振込をお願いします。

○講義資料

受講者の方には、事前に講義レジュメをオンライン配布します。また、開催後に、講義まとめ録を「教育と普及委員会」ウェブサイトに掲示する予定です。同サイトには、過去の資料が公開されていますので、ご覧ください。

○参加申込方法

ウェブ・フォームによるオンライン受付を原則とさせていただきます。詳細は、「教育と普及委員会」ウェブサイト（<http://www.metsoc.or.jp/kyoiku/hukyu/index.html>）をご覧ください。インターネットへの接続環境をお持ちでない方は、下記事務局にお問い合わせください。

○参加申込開始日

2013年6月10日（月）

定員になり次第、締め切らせていただきます。

○お問い合わせ先

気象庁内 日本気象学会事務局

Tel：03-3216-4403, Fax：03-3216-4401